

デンソーのダイアグステーション

15年に全国100店へ

高難度診断、需要増に対応

デンソーは、高度技術車両の故障診断に対応できるサービス設備「ダイアグステーション」を2015年までに現在から約70店増の全国100店に拡大する。まずは来年度中に全国50店の開設を目指すし、その後段階的に開設店舗数を増やす計画だ。デンソーは「2015～18年の間に高難度診断が必要な車種が国内保有台数の半数に達する」と見ており、ダイアグステーションの拡大で高度化する車両診断技術への対応力を高める。

一般整備工場でも「車両全体の診断ができれば部品サービスにつながる」とも難しくなる「(デンソー) ことも予想される。

このような背景から、デンソーはダイアグステーションの店舗数拡大とともに店舗スタッフの人材育成にも力を入

れる。「技術力を伴った高品質サービスが提供できる店舗を全国的に増やす」(同)として、次世代車両の高難度修理に対応する狙いだ。

ダイアグステーションは、ハイブリッドシステムやモーターシステムなど高度電子化した車両システムの故障診断・修理に対応するサービス施設。06年度の開設から現在までの開設店舗数は全国31店舗となっている。

デンソーは、ハイブリッド車(HV)の急速な普及や各種車両システムの高度化などを踏まえ、ダイアグステーションのネットワーク拡充で高

難度な電装系の整備需要を取り込む考えだ。段階的に店舗数の拡大に取り組み、来年度中に50店、15年までに100店の開設を目指す。

現在の電装整備業界は、従来から得意としてきたエアコン修理、オーディオ修理、オルタネーターの点検・修理などの需要が縮小し、新たなビジネスを開拓する必要性に迫られている。また、車両技術の高度化が今後さらに進めば、